

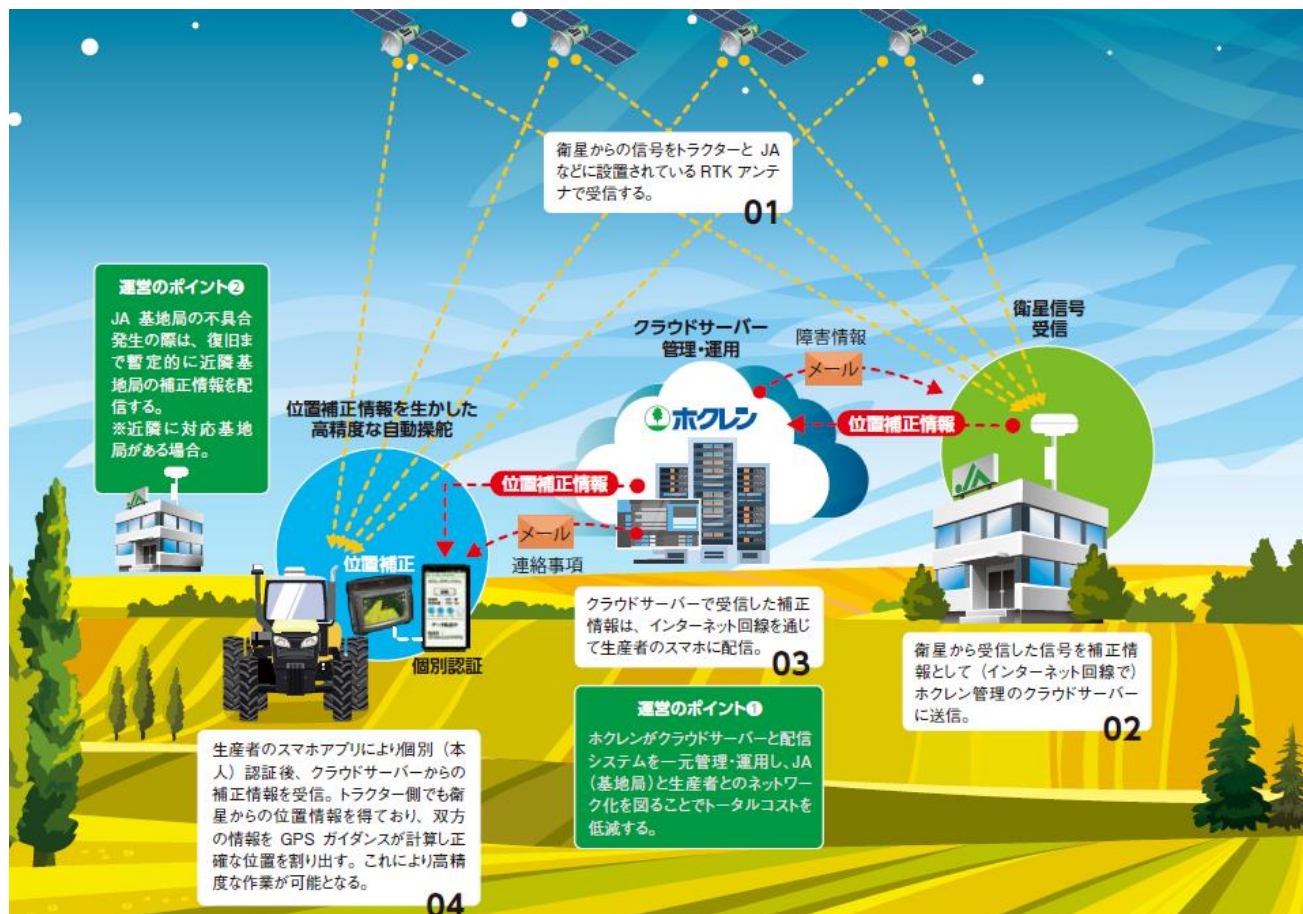
ホクレン営農支援情報

(2019年2月号)

●低コスト RTK システムの申込み受付を開始！ 《営農支援推進課》

生産者・JA・ホクレンの3者が協力して整備・運営する「系統自主運営方式」による低コスト RTK システム（アグリポート 15 号参照）が、いよいよ 2019 年 4 月から本稼働します。これは、システムや基地局を相互利用することで生産者の利用料を低減し、スマート農業の利用拡大を図るものです。

1 月には本システムへの参加を希望・検討する JA 向けの説明会も実施しました。本システムに興味がある JA には、今後も随時情報提供いたしますので、ホクレン各支所営農支援室までお問合せ願います。



「系統自主運営方式」による低コスト RTK システムのイメージ

●分婯監視装置「モバイル牛恩恵」で分婯事故低減 《訓子府実証農場 畜産技術課》

訓子府実証農場では年間 170 頭ほどの分婯がありますが、過去に分婯事故（死産）がゼロだった年はありません。これは分婯がいつ始まるか分からず適切な対応ができないことが要因でした。また、分婯しそうな牛を見続ける負担も大きなものでした。

そこで 2018 年 7 月から分婯監視装置「モバイル牛恩恵」を導入しました。この機器は、分婯を予測し自動で管理者に知らせてくれます。導入後は分婯時期が分かるようになったため、余裕をもった確かな対応ができるようになりました。

詳しくはアグリポート 17 号に掲載していますので、ぜひご覧ください。



モバイル牛恩恵システム概略図

●訓子府実証農場「GAP 取得チャレンジシステム」の取組みと認証について

《訓子府実証農場 業務課》

「GAP 取得チャレンジシステム」は、畜産 JGAP 認証取得の準備段階として生産者自身が飼養衛生管理基準などの生産工程に関する自己点検を行い、農場運営の改善を図るためのシステムです。運営主体である公益社団法人中央畜産会のホームページから無料で利用することができます (<http://jlia.lin.gr.jp/>)。システム上で自己点検を行い、その結果が中央畜産会に認証されると取組み農場として公表されます。

訓子府実証農場では、効果的な農場運営につなげるため今年度当初より当システムを利用し、乳用牛での認証取得を目的とした現場環境の改善および書類整備を行い、12 月の中

央畜産会の現地審査を経て取組み農場として認証されました。

現地審査では、①労働安全に対するリスク評価、②食品安全対策、③JGAP が求める記録保管 の三つが特に重要なポイントであるとの見解が示されたことから、今後もこの取組みを充実させ継続的な改善を促進していきます。



現地審査の様子

● 水稲の水回り作業軽減にむけた ICT 機器の実証 《北海道米麦改良協会、ホクレン

米穀総合課・営農支援推進課》

水稲生産において、圃場の巡回や給水管理は全労働時間の 30%を超えていると言われています。そこで、北海道米麦改良協会とホクレンは、2018 年に道内各地で水田センサーと自動給水装置の実証試験を実施しました。

水田センサーとは、水位や水温をスマホやタブレットを使って遠隔地でも確認できる機器のこと。今回の試験では「Paddy Watch (パディウォッチ)」と「MIHARAS (ミハラス)」の 2 機種で試験しました。また、水田センサー機能に加え給排水も可能な自動給水装置の「WATARAS (ワタラス)」も試験しました。各機器の概要はアグリレポート 17 号に記載していますので、ぜひご覧ください。



パディウォッチ



ミハラス (左:親機、右:子機)



ワタラス

●平成 30 年度空知地区水稲直播情報交換会 《岩見沢支所 営農支援室》

岩見沢支所では、空知管内で水稲の省力化技術栽培体系の確立を目的として直播栽培に取り組んでいます。平成 30 年 12 月 19 日に、直播栽培の基本から最新の技術について生産者や JA 等と情報共有し、地域全体のレベルアップを目的とした意見交換会を開催。約 150 人が参加しました。

はじめに、北海道水田農業ビジョンとうるち米の販売についての情勢報告や今年の作柄を踏まえた直播品種の作柄作況・栽培技術対策、「上育 471 号」に関する情報提供を行いました。その後、乾田班と湛水班に分かれて実情を踏まえた意見交換がなされました。



意見交換会での発表の様子



上育 471 号など 4 品種の試食も実施

●「2019 北海道クリーン農業セミナー」のご案内 《研究企画課》

研究企画課が事務局として参画している北海道クリーン農業推進協議会は、クリーン農業に関する理解促進や情報提供を目的としたセミナーを下記のとおりで開催します。今回は、農業ジャーナリストの青山浩子さんによる講演も行われます。ぜひご参加ください。

【セミナー】 2019 北海道クリーン農業セミナー ～環境保全と北海道クリーン農業の未来に向かって～

【開催日時】 平成 31 年 2 月 26 日（火） 13:30～16:30

【受講場所】 ホテルモントレエーデルホフ札幌
12 階「ルセルナホール」

【募集人数】 先着 200 名

- 【内 容】 ○講演 環境保全型農業の現状と可能性（農業ジャーナリスト 青山浩子氏）
- 研究報告 クリーン農業が生産段階、流通段階、消費段階にもたらす効果について（道総研十勝農業試験場 平石学氏）
- 情勢報告 YES!clean 農産物表示制度とその取組状況（北海道クリーン農業推進協議会 竹村秀和氏）

【その他】 セミナー詳細の確認や参加申し込みは北海道クリーン農業推進協議会（下記 URL 参照）まで。

<http://www.yesclean.jp/topics/00000362.html>



青山浩子さん

●アグリポート 17 号を発刊 《営農支援推進課》

2 月 1 日にアグリポート 17 号を発刊しました。特集は「種の今日と明日」です。2018 年 4 月に種子法が廃止になったことで、種子を取り巻く環境について不安に思う生産者の方

も多いでしょう。そもそも種子はどのように生産されているか、種子法はこれまでにどのような役割を果たしてきたのか、廃止になったことで今後どのような影響が出るのかなど、よく分からないことが多いといった読者の声に応えた企画です。この機会に是非理解を深めていただきたいと思います。



発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp